ディーラーマニュアル

ロード	グラベル	MTB
E-BIKE	LIFESTYLE	GENERAL

カセットスプロケット

XTR

CS-M9200

目次

重要なお知らせ 3
安全のために 4
使用工具一覧 6
取付け/取外し 7
カセットスプロケットの取付け 7
- 10-51T 7
- 9-45T 8

カセットスプロケットの取外し 11
- 10-51T 11
- 9-45T 11

スプロケットパターン 13
- CS-M9200 13

メンテナンス 14
粘着リングの交換 14

重要なお知らせ

- **ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。**
  専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。
  記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル、技術資料はウェブサイト https://si.shimano.com でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危　険	「死亡や重傷を負う内容」です。
警　告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注　意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

⚠ 警　告

- **製品を取付ける場合は、必ず取扱説明書の指示に従う。**
  その場合、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
- 部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な目の保護具を着用する。

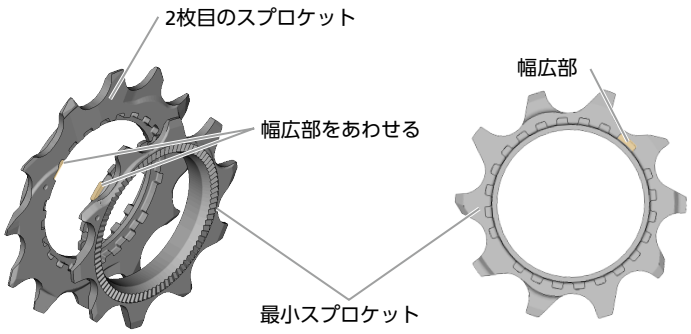
以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- チェーンおよびクイックリンクを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。錆び落としなどのアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しない。これらを使用するとチェーンおよびクイックリンクが破損し、重傷を負うおそれがあります。
- ロックリングを取外す場合は保護手袋や目の保護具を着用し、徐々に力を加えながら作業する。ロックリングにかかっていた力が急に抜けることで、重傷を負う場合があります。

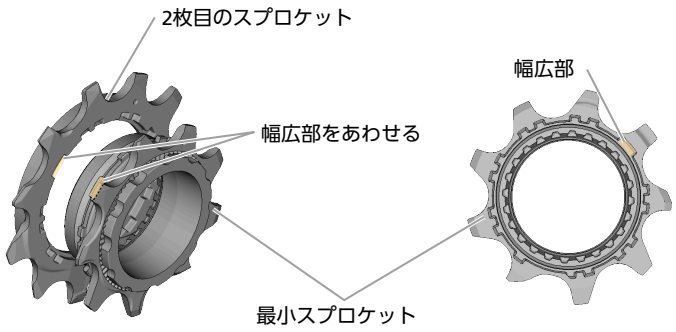
自転車への組付け、整備に関する事項

- スプロケットの幅広部を合わせて正しく取付ける。正しくセットされていないままロックリングを締付けた場合、締付け時にスプロケットのスプラインが損傷することがあります。 ロックリングの締付けに使用しているレンチにかかっていた力が急に抜けることで、重傷を負う場合があります。 また、正しく取付けられていないまま使用した場合、スプロケットの破損やチェーン飛びが発生し、転倒して重傷を負う場合があります。

10-51T



9-45T



使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- チェーン飛びが発生するようになった場合、購入された販売店にご連絡ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を発揮するために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品の使用を強くお勧めします。

自転車への組付け、整備に関する事項

- スプロケットは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンおよびクイックリンクの中性洗剤での洗浄および注油も、チェーンおよびクイックリンクの寿命を延ばすのに効果があります。
- スプロケットは必ず推奨の組合わせで使用してください。
- CS-M9200は、必ずCN-M9100 / CN-M8100 / CN-M7100 / CN-M6100との組合わせでご使用ください。
  他のチェーンとは寸法が合わないためご使用になれません。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覧

製品の取付け/取外し、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

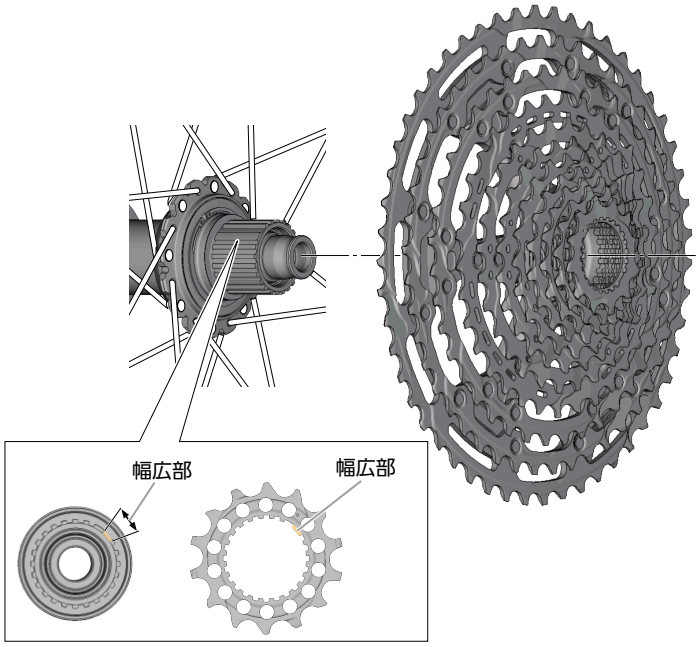
工具	
	TL-LR10
	TL-LR15
	TL-LR021
	TL-SR24
	モンキレンチ

取付け/取外し

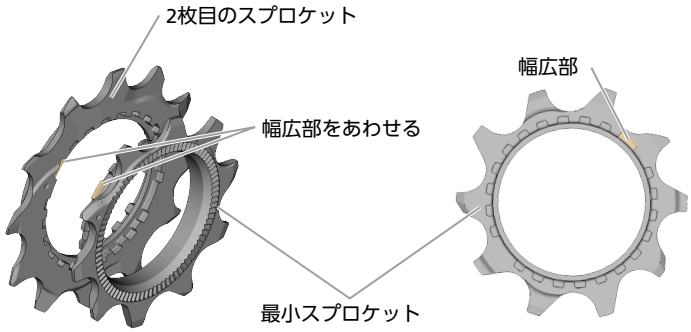
カセットスプロケットの取付け

10-51T

1. **フリーユニットに最小スプロケット以外のスプロケットをセットします。**
   最大スプロケットから順にセットします。
   フリーユニットの溝とカセットスプロケットの凸部の幅広部を合わせてセットします。
   スプロケットは刻印のある面が外側です。



2. **最小スプロケットをセットします。**
   最小スプロケットの内側の幅広部を2枚目のスプロケットの幅広部に合わせてセットしてください。

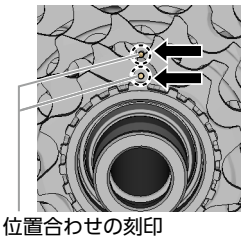


TECH TIPS

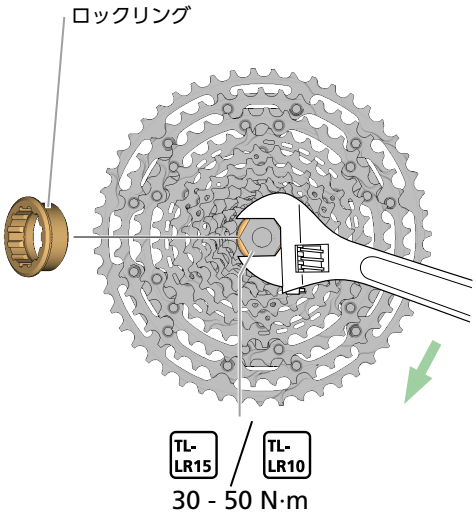
- 10T（最小スプロケット）、12T、14Tには位置合わせ用の刻印があります。各スプロケットの刻印を揃えるように組立ててください。



- 位置合わせ用の刻印が正しくセットされると図のようになります。

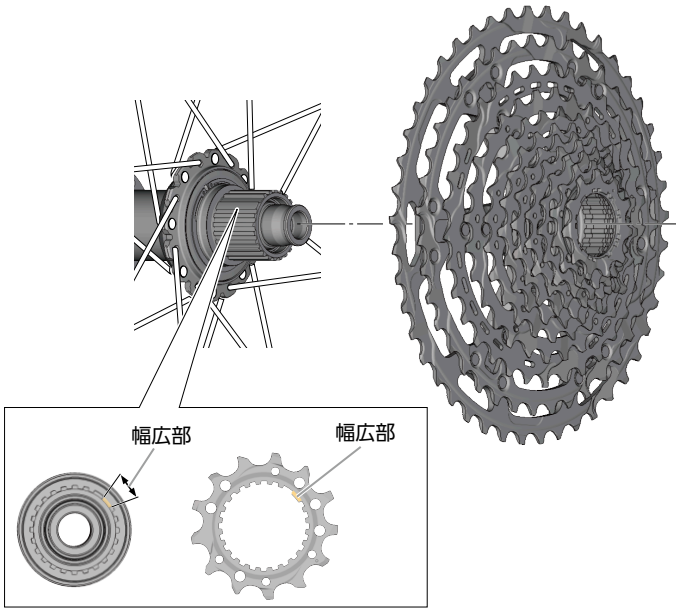


3. **フリーユニットにロックリングをセットし、締付けます。**



9-45T

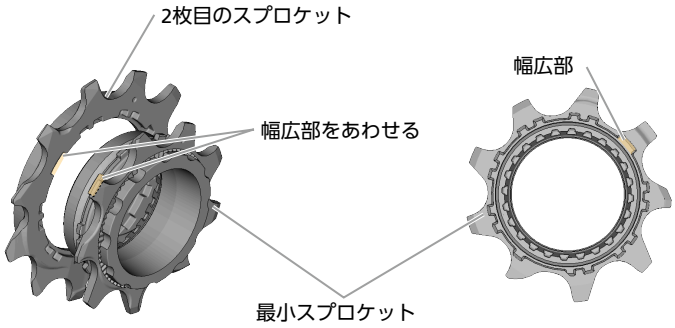
1. **フリーユニットに最小スプロケット以外のスプロケットをセットします。**
   最大スプロケットから順にセットします。
   フリーユニットの溝とカセットスプロケットの凸部の幅広部を合わせてセットします。
   スプロケットは刻印のある面が外側です。



2. 最小スプロケットをセットします。

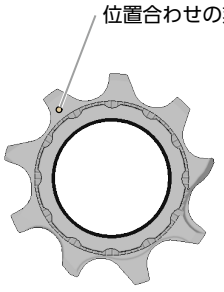
最小スプロケットの内側の幅広部を2枚目のスプロケットの幅広部に合わせてセットしてください。

最小スプロケットとロックリングは一体型です。

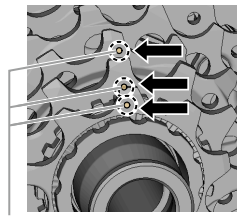


TECH TIPS

- 9T（最小スプロケット）、11T、13Tには位置合わせ用の刻印があります。各スプロケットの刻印を揃えるように組立ててください。

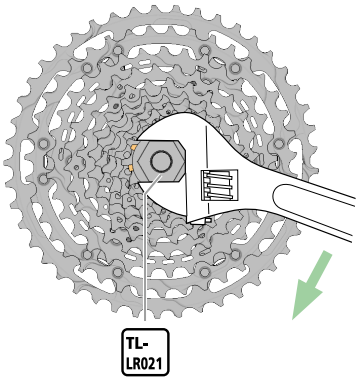


- 位置合わせ用の刻印が正しくセットされると図のようになります。



位置合わせの刻印

3. ロックリングを締付けます。



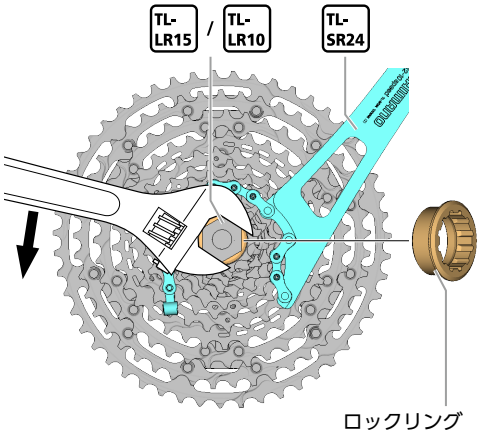
30 - 50 N·m

カセットスプロケットの取外し

10-51T

1. **ロックリングを取外します。**

   図のように、TL-SR24を中段よりも外側のスプロケットに取付けて固定してください。中段よりも内側に取付けるとTL-SR24が安定しません。



⚠ 警　告

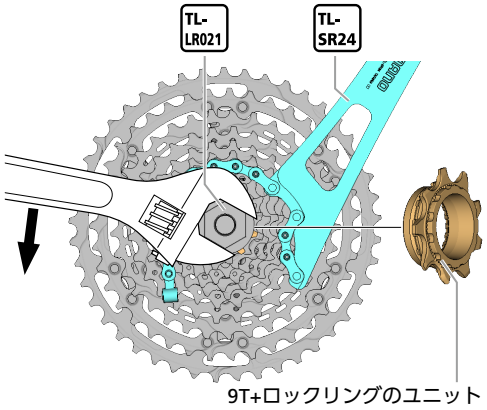
- ロックリングを取外す場合は保護手袋や目の保護具を着用し、徐々に力を加えながら作業する。ロックリングにかかっていた力が急に抜けることで、重傷を負う場合があります。

2. **フリーユニットからカセットスプロケットを取外します。**

9-45T

1. **ロックリングを取外します。**

   図のように、TL-SR24を中段よりも外側のスプロケットに取付けて固定してください。中段よりも内側に取付けるとTL-SR24が安定しません。



⚠警　告

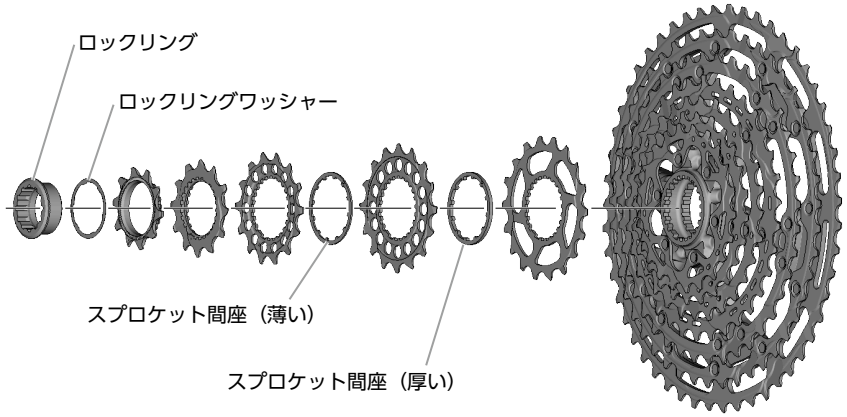
- ロックリングを取外す場合は保護手袋や目の保護具を着用し、徐々に力を加えながら作業する。ロックリングにかかっていた力が急に抜けることで、重傷を負う場合があります。

2. フリーユニットからカセットスプロケットを取外します。

スプロケットパターン

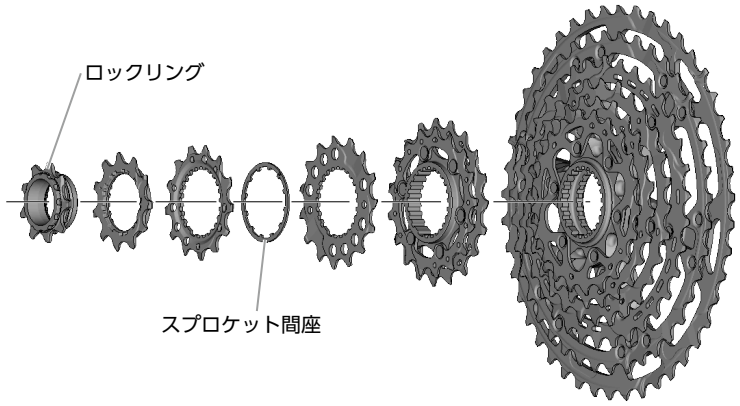
CS-M9200

10-51T



10-51T	10	12	14	16	18	21	24	28	33	39	45	51	T
刻印	C	F	F	G	K	U	H	J	C	D	J	D	

9-45T

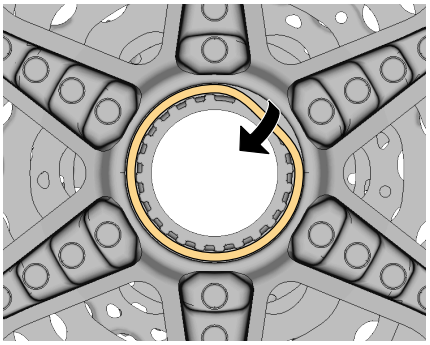


9-45T	9	11	13	15	17	19	21	24	28	33	39	45	T
刻印	A	D	E	F	M	P	N	H	J	C	D	H	

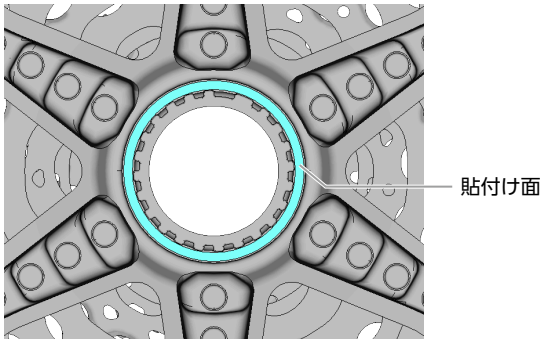
メンテナンス

粘着リングの交換

1. **古い粘着リングを剥がします。**



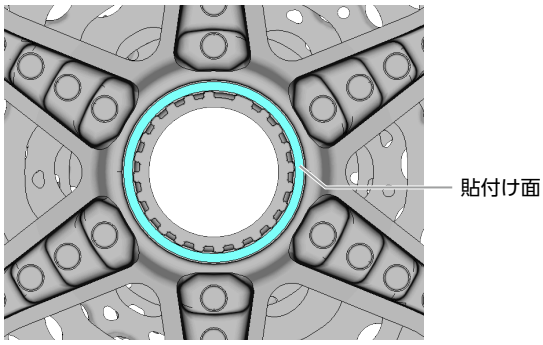
2. **貼付け面を洗浄し、水で洗い流します。**



使用上の注意

- 洗浄には中性洗剤を使用してください。

3. **貼付け面の汚れ、水分、油分をきれいに拭き取ります。**

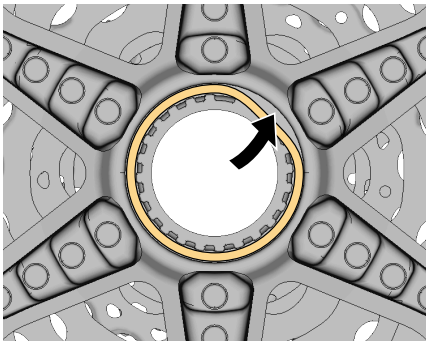


使用上の注意

- 貼付け面に汚れや水分、油分があると粘着力が弱くなります。

4. **新しい粘着リングを貼付けます。**

貼付け面からはみ出さないように、強く押付けて貼付けてください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
Tel. 0120-495-440（通話料無料）
Fax.072-243-7847

株式会社シマノ
〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地